

とろぬい。



特集

脊椎センター 骨粗鬆症の治療

リハビリ通信

インソールの効果

かけはし

内科・泌尿器科 窪田医院

昨年10月より脊椎センターが開設され、o-armを導入したことで脊椎専門の手術や治療が可能になりました。そこで、骨粗鬆症の治療について和田先生に伺いました。

1998年 島根医科大学卒
日本整形外科学会認定 整形外科専門医
日本整形外科学会認定 脊椎脊髄病医
日本脊椎脊髄病学会・日本脊髄外科学会認定 脊椎脊髄外科専門医
日本脊椎脊髄病学会認定 脊椎脊髄外科指導医

1. 脊椎骨折があると重症と診断

日本における重症骨粗鬆症は診断基準があり、以下のうち一つでもあてはまると診断されます(専門用語を使わない平易な言葉で書き直しています)。

1. 骨密度値がYAM値70%以下で1個以上の脆弱性骨折を有する
2. 腰椎骨密度がYAM値60%未満
3. これまでに脊椎の骨折の数が2個以上
4. 脊椎骨折が40%以上潰れている

ここでYAM(ヤム)値とは、若年者の骨密度の平均値で、どの骨密度計測装置でも計測できます。つまり3と4の基準は骨密度と関係なく決められた値で、3または4があれば骨密度を計測するまでもなく重症骨粗鬆症と診断されます。重症骨粗鬆症と診断された場合は近年の国際学会でも、骨形成促進薬(骨を作ることを促進する薬)を使用することが推奨されています。現在使用できる骨形成促進薬には、イベニティ、オスタバロ、テリボンがあります。骨形成促進薬は強力な薬で、骨密度を短期間で上昇させます。つまり骨密度を急速に上昇させて次の骨折のリスクをな

るべく早く減少させるという治療です。注意点もあります。テリボン、オスタバロは、骨転移が起りやすい癌の既往がある方に対しては、一般的には使用できません。イベニティは上記の中で最も強力な骨形成促進薬ですが、1年以内に心筋梗塞や脳梗塞の既往のある方には使用できません。テリボンは2年、オスタバロは1年半、イベニティは1年と、投与期間が決められています。もう一つ、重症骨粗鬆症治療に用いられる強力な骨吸収抑制薬(骨が壊れることを抑える薬)としてプラリアがあります。本薬剤も強力に骨密度を上げますが、上記骨形成促進薬の使用後に投与した方が効果が高いことから、骨形成促進薬の次に使う薬と位置付けています。

2. やはり早期発見、早期治療が大事

以上、重症骨粗鬆症について解説しましたが、高齢になっても快適に暮らすには、骨粗鬆症の早期発見、早期治療がとても大切です。重症骨粗鬆症、特に過去に骨折のある方は、当院整形外科の脊椎専門外来か、骨粗鬆症外来を受診してみてください。

その他、ホームページでもご紹介していきます。

▼教えて！とうめい先生

https://www.tomei.or.jp/hospital/column/column_cat/column_teacher/



新規開院

とうめい栄町クリニック

2025年4月1日、厚木市栄町に透析を中心とした、新しい形のクリニックが開院しました。そこでクリニックの特徴など、院長の田村先生にうかがいました。

治療を受ける場所は「病院」、生活をする場所は「家」、ですよね！

「病院」と「家」が近くにあったらいいのに！と思ったことはありませんか？

ずっと自分の「家」で過ごしたいのに、年をとって日常生活がままなくなると「家」での生活をあきらめて、仕方なく「施設」に入ったという話をきいたことはありませんか？

実際、私たちは透析治療を提供していますので、週3回の通院に透析患者さんとそのご家族がご苦労されているのを長年見て参りました。そして、多くの透析患者自身が年をとっても可能であれば、施設でなく自分の家に居続けたいと希望されていることも知っていました。

そこで私たちは「家」にしながら医療を受けられる、医療施設と住居が一体化した複合施設を実現しました。私たちは、「最期まで安心した生活が『家』で過ごせるように、医療とリハビリテーションを受けられる！」をコンセプトにクリニックを作りました。クリニックのある建物と住居が同じ建物にあるだけでなく、建物内に通院用のエレベーターを備えていますし、こちらの施設にお住まいのご高齢のクリニックの患者さんには、生活サポート用のiPadや孤独死予防の生体監視モニターの貸出、終活サポートなど、様々な「しかけ」を整えているところです。

医療と住居が一体化した建物のことばかりお話ししてしまいましたが、私たちは、地域のクリニックとして人工透析科・内科（総合診療・腎臓内科・糖尿病内科）・整形外科の診療、CT検査、超音波検査などを通して地域に貢献していきます。通常のリハビリテーションだけでなく、今後は「予防のリハビリテーション」の提供も予定していますので、是非ご利用頂ければと思います。

このような先進的な複合施設を実現するにあたり、私たちの構想に賛同下さり大家さんとなってくださったKUMAアセットマネジメント様、建物の設計施行を担当くださったダイワハウス様には大変感謝しています。

新しい挑戦を始めたばかりですので、不十分なところも多々あるかと思いますが、知恵を出し合って、より良い医療・より良い介護・安心できる生活サポートを提供し、皆さんに寄り添って参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

とうめい栄町クリニック

[院 長] 田村 博之
東京医科歯科大学医学部医学科卒業
東京医科歯科大学博士号取得

[診 療 科] 人工透析内科、内科、整形外科

[住 所] 〒243-0017
厚木市栄町2丁目3番-13 パークベア本厚木

[電 話] 046-280-6661

[アクセス] 本厚木駅徒歩15分

[URL] https://www.tomei.or.jp/sakaecho_clinic/





リハビリテーション科 理学療法士 橋本 健太郎

人間の主たる移動様式は二足直立歩行であり、唯一地面に接しているのが足部です。床からの反力は、地面から靴—中敷き—足へと伝達されます。このため靴や中敷きが変化することによって、地面から人間の足の伝達の仕方が変化することになります。このように考えると、靴や中敷きがいかに重要であるかが想像できます。インソールは中敷きに凹凸をつけ、人間の土台となる足の肢位や使い方に変化を与えるものです。ここでインソール使用にあたって重要とされる「アーチ」について紹介します。足の骨は靭帯や筋・腱とともにアーチと呼ばれる構造を形成します。アーチは内側縦アーチ、外側縦アーチ、横アーチがあり、これらがバランスをとることで、体全体を支えています。アーチが崩れる代表的な要因として、加齢、運動

不足、肥満、不適切な靴の使用、姿勢の悪さなどがあります。足のアーチが崩れると、荷重時の衝撃を十分に吸収することが出来ず、足の痛みやしびれ、場合によっては膝や腰に負担が掛かり、関節の痛みや腰痛を引き起こします。

ではインソールを入れるとどのような効果があるのでしょうか。1つめに踵がホールドされることで姿勢の安定が補助されます。2つめにアーチ形態を補正し荷重を分散させることで疼痛の軽減に作用します。3つめに蹴り出し時に推進力が生まれ、重心移動がスムーズになります。これらにより、結果としてバランス機能・運動機能の改善が期待出来ます。インソールは正しく使用することでパフォーマンス向上へ繋がります。皆様も一度試してみたいはいかがでしょうか。

第3回とうめい健康川柳 一般の部 佳作

ウォーキング いつのまにやら 食べ歩き

鎌倉山のサル番長



内科・泌尿器科 窪田医院

院長 平野 裕資

[略歴]

2014年 防衛医科大学卒業
2014年 研修医（防衛医科大学病院、自衛隊中央病院）
2016年 自衛隊中央病院
2018年 専門医（防衛医科大学病院、泌尿器科）
2020年 自衛隊仙台病院
2021年 防衛医科大学医学研究科
2024年 内科・泌尿器科 窪田医院



2024年に「内科・泌尿器科 窪田医院」として継承させていただきました、平野裕資と申します。防衛医科大学を卒業後、自衛隊関連の病院で勤務し、その後、大学病院で診療に従事しておりました。

泌尿器科という独特なイメージを持たれるかもしれませんが、診療内容は多岐にわたり、悪性疾患から良性疾患まで幅広く対応します。診察・検査・手術・抗がん剤治療など、一貫した診療が求められる分野だと考えております。特に総合病院では、泌尿器科の先生方が主に手術を担当されることが多いですが、私の役割としては、可能な限り診断を行うこと、良性疾患の治療および術後の経過観察を担うことを重視しております。そのため、膀胱鏡や超音波検査が実施できるよう準備を整えております。

診断にはCTやMRI検査が不可欠であり、東名厚木病院の検査枠の確保や紹介受診へのご対応には、日頃より心より感謝申し上げます。今後も適切な連携を図れるよう努めてまいりますので、何卒ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



〈DATA〉
内科・泌尿器科 窪田医院
〒243-0041 神奈川県厚木市緑ヶ丘2丁目5-5
TEL 046-221-2200



スマートフォンでこちらのQRコードを読み込んでいただくと、医院のホームページを見ることができます。

教えて!

とうめいせんせい



地域のみなさんから届いた質問・疑問に、医療のプロフェッショナルがお答えします。

Q. 病院にも歯科衛生士さんはいるの？

A. 東名厚木病院には、現在 4 名の歯科衛生士が活躍しています。

歯科衛生士が在籍している病院は全国的にもまだ少数派ですが、当院は平成 20 年から歯科衛生士を採用しています。歯科衛生士の主な役割を紹介します。

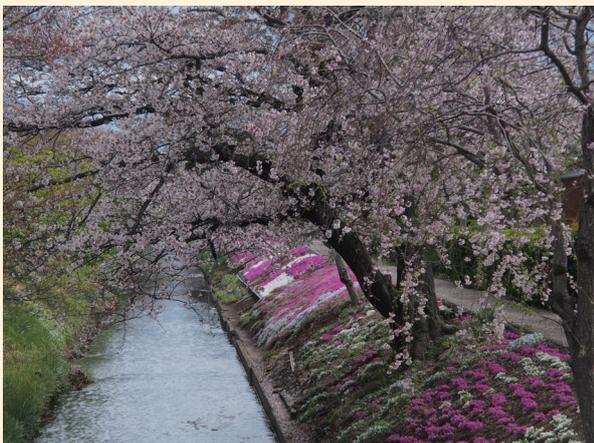
1. 入院患者さんの口腔健康管理
2. 摂食嚥下（せつしょくえんげ）障害の評価と訓練
3. 外科手術前の患者さんへの面談と口腔チェック
4. がん治療開始前、治療中の患者さんの口腔健康管理と相談対応
5. 歯科治療が必要な入院患者さんと訪問歯科をつなぐパイプ役

このように、治療開始前から様々なお口の問題についてサポートしています。例えば、がん治療中の患者さんは、お口の中に副作用が表れて苦しい思いをすることがあります。歯科衛生士は、お口の副作用の対処法や正しい歯磨き方法をアドバイスして、苦痛の緩和を図り、治療が継続できるよう支援します。お口の健康を守る専門家として、歯科衛生士は患者さんを支えています。

回答者 東名厚木病院 摂食嚥下療法科 西川 利恵

とうめいせんせいへの質問を募集！

「教えて！とうめいせんせい」では、医療に関する素朴な疑問・質問を募集しています。どんなことでも構いませんので、お送りください。質問が採用された方には、何かいいことがあるかもしれません。みなさんの質問、お待ちしております。宛先などは、裏表紙をご覧ください。



みんなの写真館

「爽やかな音色」

暖かい日差しに誘われて春の息吹きを
楽しみながら散歩しました。

撮影場所：伊勢原渋田川

フォトサークル A 千田 ムツ子

地域の関係機関に向けて摂食嚥下研修を開催しました



2月4日東名厚木病院三思会ホールにて、摂食嚥下研修「嚥下機能が低下した高齢者の食支援の進め方」が開催されました。当日は60名の参加があり、そのうち25名は院外の近隣医療機関や介護施設、訪問リハビリテーションなどに所属する方で、一般の方の参加もありました。

研修では、「現場で役立つ食事介助のコツ」や「嚥下機能が低下した高齢者の食支援の進め方」の講演が行われました。

「アタマとカラダを動かそう」 公民館で出張講座を開催



2月21日、愛甲公民館にて南毛利南地域福祉推進委員会健康づくり部主催の出張講座が開催され、「アタマとカラダを動かそう」をテーマに当院理学療法士が講師をつとめました。

「加齢と老化に伴って起こること」「認知症とは」「コグニサイズとは」の3つの話をした後、4人のグループでストレッチ、筋力トレーニング、アタマとカラダを同時に使うトレーニングを行いました。参加者からは、具体的な質問が聞かれ健康に対する意識の高さが伺えました。今後もこのような活動を継続し、地域の方々の健康増進の一助を担っていきたいと思います。

がんサロンを開催



3月15日東名厚木病院がん相談支援センター主催がんサロンが開催されました。今回は、「化学療法にともなう口腔ケアと副作用の付き合い方」をテーマに、西川 歯科衛生士より「口腔ケアについて」、がん薬物療法看護認定看護師の大槻看護師より「抗がん剤治療と生活について」の講演が行われました。その後、参加者のみなさん同士で話しをする機会が設けられました。

がんのお悩み、心配なこと



何でもお気軽にご相談ください。がん相談支援専門員がサポートいたします。相談無料・匿名可、ご本人、ご家族、ご友人どなたでも。

がん相談支援センター
046-229-2552 平日 9:00～16:00

みなさんのご意見・感想など募集しています

東名厚木病院では地域のみなさんに向けて、よりよい情報提供をするため、読者のみなさんからご意見や感想を募集しています。また、「教えて！とうめい先生」の質問もお待ちしておりますので、住所・氏名・年代とそれぞれの内容をご記入の上、下記宛先までお送りください。

web フォーム

右記 QR コードを読み込んで、
フォームより入力ください。



郵送先

〒243-0034 厚木市船子 232
東名厚木病院 総務課 広報誌担当 まで

東名厚木病院広報誌「とうめい」203号

2025年4月1日発行／社会医療法人社団三思会 東名厚木病院／厚木市船子232／TEL 046-229-1771／発行者 北野 義和／編集責任者 金谷 渉／企画・編集 広報委員会



社会医療法人社団三思会

東名厚木病院

TOMEI ATSUGI HOSPITAL



理念

地域に信頼される病院

患者に愛される病院

誇りと責任を持てる病院

社会医療法人社団三思会

〈保健〉

東名厚木メディカルサテライトクリニック

新横浜メディカルサテライト

Yangon Japan Medical Centre

〈医療〉

東名厚木病院

とうめい厚木クリニック

東名厚木病院 透析センター

愛川クリニック

とうめい綾瀬腎クリニック

さがみ緑風園診療所

とうめい宮の里クリニック

とうめい栄町クリニック

〈介護・福祉〉

介護老人保健施設 さつきの里あつぎ

介護老人保健施設 なでしこの里 リハビリひらつか

複合型施設マザーホーム戸室

多機能型事業所 にじいろ

看護小規模多機能型居宅介護事業 いわしぐも

訪問看護ステーション もみじ

サービス付き高齢者向け住宅 マザーホーム戸室

訪問看護ステーション さつき

東名厚木病院 居宅介護支援センター

厚木市南毛利地域包括支援センター

無料送迎バス時刻表



SNSにて最新情報を発信中！



LINE

@034jolk



Instagram

@team_tomei_pr



facebook

@とうめい企画・広報室



YouTube

@三思会チャンネル